３章　モビリティ・マネジメントの改善点と今後の方針

職場モビリティ・マネジメントにおけるアンケート調査から、市・県・事業所平均で、54.8%の人が「エコ通勤への参加意向がある」と回答した一方、「ノルデ運動への参加意向がある」人は 22.6%に留まった。

調査より見えてきたノルデ運動の問題点と、その改善方針を下記に整理する。

ノルデ運動を進める上での問題点・改善点と対応方針

改善点等	対応方針
帰りに買物等で立ち寄りができない ○帰りにはスーパー等に立ち寄る人が多く、帰りの立ち寄りができないことがノルデ運動の障壁として多くあげられた	**商店街との連携** ○買物なども含めた生活スタイル全体からの提案 ○たとえば、商店街と連携し、バス利用促進ちらしの中で、商店街店舗の紹介や商店街店舗を利用した生活スタイルを提案（商品、サービスなど）→職場やバス停・駅近くの店舗で用事を済ませてもらうとともに、商店街活性化にも寄与する
経済的なインセンティブ ○2012 年ノルデ運動においては、ノルデ運動参加者に対して、路線バスを特別運賃とするインセンティブが与えられ、一定の評価が得られた ○一方で､「公共交通を利用する方が得をする」仕組みづくりを創設する必要があるといった意見も多くあがった	**他の経済的なインセンティブ** ○ノルデ運動（エコ通勤）手当の創設 **エコ通勤しやすい職場環境づくり** ○ノルデ運動参加者のフレックスタイム制度 ○ノー残業デーとノーマイカーデーを同時に実施 ○残業時、飲み会時などに利用できる夜間乗合タクシーの創設 ○利用しやすい駐車場料金制度の設定（月極ではなく日割り）など ○一ヶ月定期券や回数券の導入と身近な売り場での販売

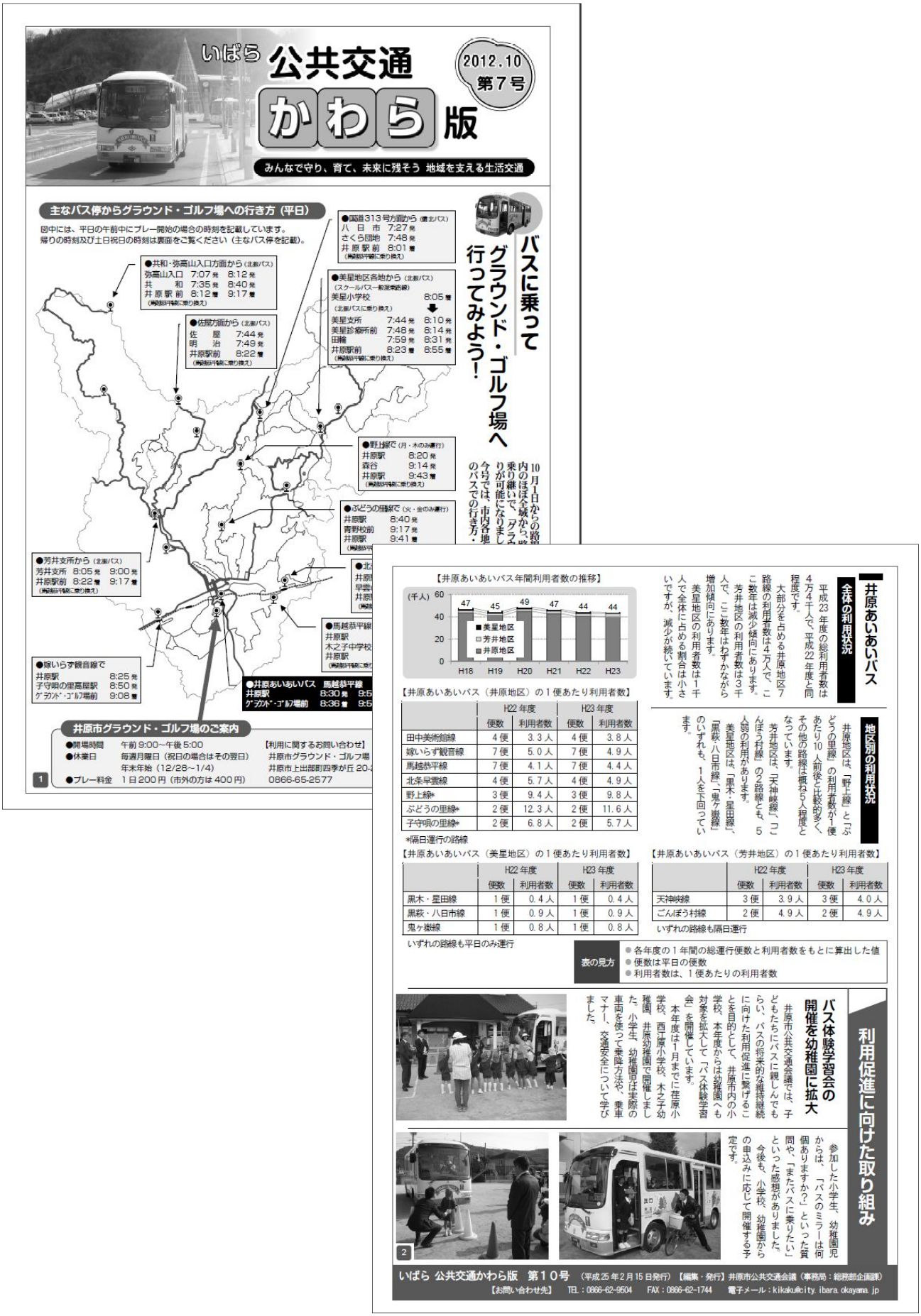
上記の他にも、事業所や一般への周知徹底や公共交通利用促進策として、下記のようなモビリティ・マネジメント施策も考えられる。

その他（事業所や一般への周知徹底）

○ノルデ運動参加者の生の声（ノルデ運動に参加して良かったことなど）をちらし等で紹介
（アンケートからは、「公共交通機関を利用することで、運転の疲れが無く夜寝つきが良くなった。」といった声も得られた）

○広報誌を徹底して活用（毎月特集ページを設ける）。例えば、バス運転手のインタビューや利用者のインタビューなど、各回トピックスをつくって紹介

○ノルデ運動専用ホームページの開設（各種取組方法やちらしの紹介、協力事業所の紹介など）



いばら 公共交通 かわら版

2012.10 第7号

みんなで守り、育て、未来に残そう 地域を支える生活交通

バスに乗って グラウンド・ゴルフ場へ 行ってみよう！

10月1日からの路線内のほぼ全域から、乗り継いで、グラウンドが可能になりました。今号では、市内各地のバスでの行き方・

主なバス停からグラウンド・ゴルフ場への行き方（平日）

図中には、平日の午前中にプレー開始の場合の時刻を記載しています。
帰りの時刻及び土日祝日の時刻は裏面をご覧ください（主なバス停を記載）。

●国道313号方面から（備北バス）
八日市 7:27発
さくら団地 7:48発
井原駅前 8:01着
（馬越恭平線に乗り換え）

●共和・弥高山入口方面から（北振バス）
弥高山入口 7:07発 8:12発
共和 7:35発 8:40発
井原駅前 8:12着 9:17着
（馬越恭平線に乗り換え）

●美星地区各地から（北振バス）
（スクールバス一般混乗路線）
美星小学校 8:05着
（北振バスに乗り換え）
美星支所 7:44発 8:10発
美星診療所前 7:48発 8:14発
田輪 7:59発 8:31発
井原駅前 8:23着 8:55着
（馬越恭平線に乗り換え）

●佐賀方面から（北振バス）
佐屋 7:44発
明治 7:49発
井原駅前 8:22着
（馬越恭平線に乗り換え）

●野上線で（月・木のみ運行）
井原駅 8:20発
森谷 9:14発
井原駅 9:43着
（馬越恭平線に乗り換え）

●ぶどうの里線で（火・金のみ運行）
井原駅 8:40発
青野校前 9:17発
井原駅 9:41着

●芳井支所から（北振バス）
芳井支所 8:05発 9:00発
井原駅前 8:22着 9:17着
（馬越恭平線に乗り換え）

●馬越恭平線
井原駅
木之子中学校
井原駅

●嫁いらず観音線で
井原駅 8:25発
子守明の里高屋駅 8:50発
ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ場前 9:08着

●井原あいあいバス 馬越恭平線
井原駅 8:30発
ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ場前 8:36着

井原市グラウンド・ゴルフ場のご案内

●開場時間 午前9:00～午後5:00
●休業日 毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始（12/28～1/4）
●プレー料金 1日200円（市外の方は400円）

【利用に関するお問い合わせ】
井原市グラウンド・ゴルフ場
井原市上出部町四季が丘20-
0866-65-2577

1

井原あいあいバス

全体の利用状況

平成23年度の総利用者数は4万4千人で、平成22年度と同程度です。

大部分を占める井原地区7路線の利用者数は4万人で、ここ数年は減少傾向にあります。

芳井地区の利用者数は3千人で、ここ数年はわずかながら増加傾向にあります。

美星地区の利用者数は1千人で全体に占める割合は小さいですが、減少が続いています。

【井原あいあいバス年間利用者数の推移】

地区別の利用状況

井原地区は、「野上線」と「ぶどうの里線」の利用者数が1便あたり10人前後と比較的多く、その他の路線は概ね5人程度となっています。

芳井地区は、「天神峡線」、「ごんぼう村線」の2路線とも、5人弱の利用があります。

美星地区は、「黒木・星田線」、「黒萩・八日市線」、「鬼ケ嶽線」のいずれも、1人を下回っています。

【井原あいあいバス（井原地区）の1便あたり利用者数】

	H22年度		H23年度	
	便数	利用者数	便数	利用者数
田中美術館線	4便	3.3人	4便	3.8人
嫁いらず観音線	7便	5.0人	7便	4.9人
馬越恭平線	7便	4.1人	7便	4.4人
北条早霞線	4便	5.7人	4便	4.9人
野上線*	3便	9.4人	3便	9.8人
ぶどうの里線*	2便	12.3人	2便	11.6人
子守明の里線*	2便	6.8人	2便	5.7人

*隔日運行の路線

【井原あいあいバス（美星地区）の1便あたり利用者数】

	H22年度		H23年度	
	便数	利用者数	便数	利用者数
黒木・星田線	1便	0.4人	1便	0.4人
黒萩・八日市線	1便	0.9人	1便	0.9人
鬼ケ嶽線	1便	0.8人	1便	0.8人

いずれの路線も平日のみ運行

【井原あいあいバス（芳井地区）の1便あたり利用者数】

	H22年度		H23年度	
	便数	利用者数	便数	利用者数
天神峡線	3便	3.9人	3便	4.0人
ごんぼう村線	2便	4.9人	2便	4.9人

いずれの路線も隔日運行

表の見方
- 各年度の1年間の総運行便数と利用者数をもとに算出した値
- 便数は平日の便数
- 利用者数は、1便あたりの利用者数

利用促進に向けた取り組み

バス体験学習会の開催を幼稚園に拡大

井原市公共交通会議では、子どもたちにバスに親しんでもらい、バスの将来的な維持継続に向けた利用促進に繋げることを目的として、井原市内の小学校、本年度からは幼稚園へも対象を拡大して「バス体験学習会」を開催しています。

本年度は1月までに荏原小学校、西江原小学校、木之子幼稚園、井原幼稚園で開催しました。小学生、幼稚園児は実際の車両を使って乗降方法や、乗車マナー、交通安全について学びました。

参加した小学生、幼稚園児からは、「バスのミラーは何個ありますか？」といった質問や、「またバスに乗りたい」といった感想がありました。

今後も、小学校、幼稚園からの申込みに応じて開催する予定です。

2

いばら 公共交通かわら版 第10号 （平成25年2月15日発行）【編集・発行】井原市公共交通会議（事務局：総務部企画課）
【お問い合わせ先】 TEL：0866-62-9504 FAX：0866-62-1744 電子メール：kikaku@city.ibara.okayama.jp

公共交通かわら版の例（岡山県井原市）